本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	大阪市西区千代崎3－2－95	電話 大阪 06 (586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2－2－19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39－6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2－3－17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1－8－2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話 京都 075(231)8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2－4－1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1－5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4－8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6－57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町荒堀680－1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12－11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3－4	電話 長浜 0749(62)7171	〒526
本社・ガスビルサービスセンター	大阪市中央区平野町4－1－2	電話 大阪 06(202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

T92018

92.01 91.12

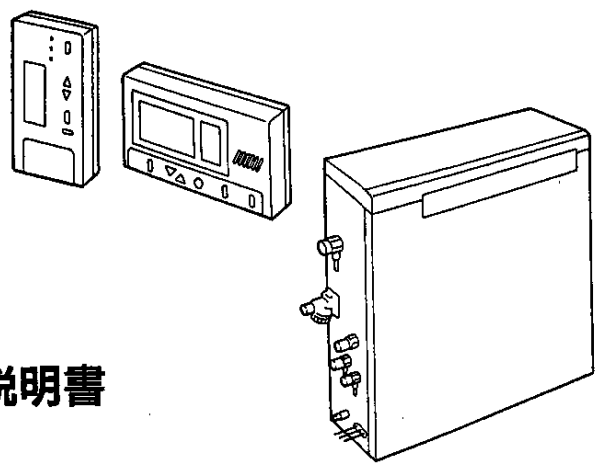
屋外設置型(BL認定品)

全自動タイプ

ガス風呂給湯器

31-046型

型式名 TP-FP241AZF



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせてください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器（全自動タイプ）をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

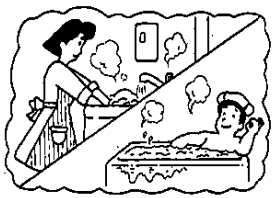
もくじ

- ごあいさつ・もくじ……1
- 特長・機能の紹介……2
- 必ずお守りください……5
- 各部の名まえと扱いかた……9
- 初めてお使いいただくときに……16
- 使用方法……17
- 点検・お手入れ……40
- 故障かな？と思ったら……42
- 寸法図……46
- 仕様……47
- 保管とアフターサービス……48

特長・機能の紹介

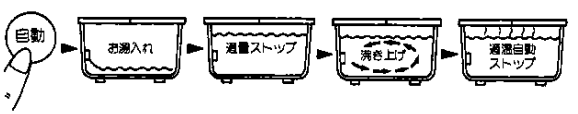
■給湯も風呂沸かしもこれ1台でOKです。

24号給湯器と風呂釜を一体にした1台で2役のガス風呂給湯器です。



■スイッチ、ポンでお風呂の沸き上げができます。（23ページをごらんください。）

ふたをして、せんをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめセットしておいた湯温、湯量で沸きあげます。お湯の入れ過ぎ、沸かし過ぎがありません。



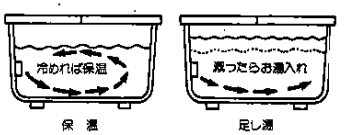
■上下の湯温差がありません。

浴そうのお湯はポンプによって循環しているので均一に沸き上がり、かきまわす必要がありません。

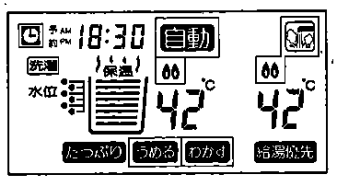
■湯温と水位は器具におまかせ。（28ページをごらんください。）

「自動」スイッチを押しておけば、4時間はお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動で足し湯します。

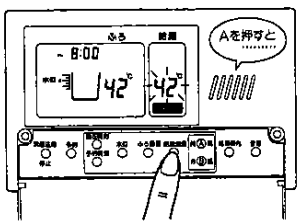
自動



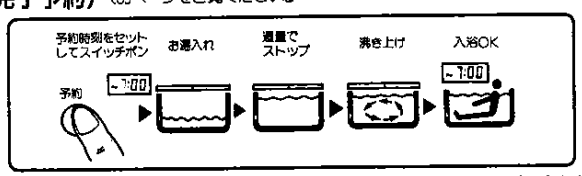
■風呂リモコンは、見やすいカラー液晶表示です。(11ページをご覧ください。)



■音声ガイドで、リモコン操作は簡単。
(風呂リモコンのみ)



■お好きな時刻にお風呂に入れる予約タイマーがついています。
(簡易完了予約)(33ページをご覧ください。)



(予約完了時刻は目安です。水温や浴そうの大きさにより、前後することがあります。)

■サーモミキシング機構を内蔵し、給湯断続使用時の湯温の安定性を向上させました。

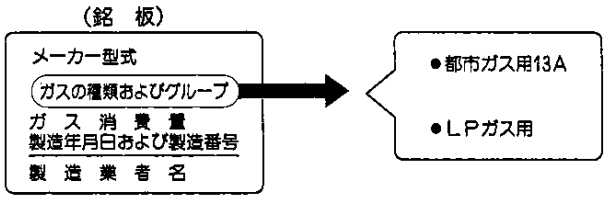
■別売品の洗濯注湯システム(36-046型)を取り付けますと、お湯での洗濯が容易にできます。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

●器具側面の銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。



●ガスの種類には、都市ガスとLPガスがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

■使用電源についてのご注意

●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。
この器具はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

■用途についてのご注意

●台所・シャワー・洗面などの給湯、お風呂沸かしおよび洗濯注湯以外の用途には使用しないでください。

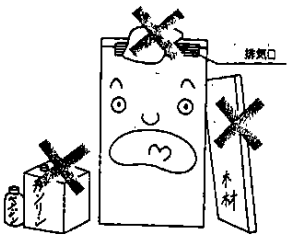
■器具設置についてのご注意

●器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、工事説明書にしたがって安全な位置に正しく設置してご使用ください。

■使用上のご注意

■火災予防

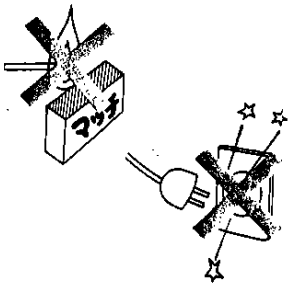
●器具の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、近くで揮発性の製品等を使用しないでください。特に排気口は洗たく物などでおおわないでください。不完全燃焼の原因になります。



■ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガスせんをしめ、お買い求めの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。

(注) 係員が処置するまでは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。

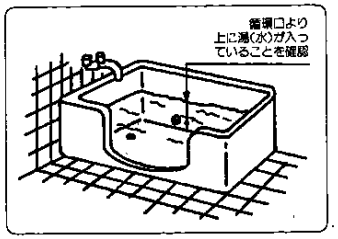


■やけど等のご注意

●使用中および消火直後は、排気口やその周囲が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。
●シャワーを使用されるときは、あらかじめ手で湯温を確認してからお使いください。
●お風呂にご入浴の際は、あらかじめ手で湯温を確認してからご入浴ください。

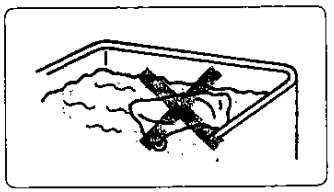
■空焚き防止

●「わかす」スイッチを押すときはかならず浴そうの上部の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめてください。



■循環口についてのご注意

●浴そうの循環口をタオル等でふさぐと循環不良となりますのでおやめください。



■凍結についてのご注意

●冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがありますので凍結のおそれのあるときは37ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

●器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。(有料)
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具および配管から水漏れがないことを確認後、16ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行なってください。

■異常時の処置

●万一、ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。(42ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行なってください。)

■水の使用についてのご注意

●器具内に長時間たまった水は飲用や調理には用いないでください。
●洗濯注湯システム用蛇口は、浴槽の残り湯も使用しますので、上水として飲用や調理等には絶対に使用しないでください。

■雷が発生しているときのご注意

●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
●5分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定(給湯湯温・風呂湯温・水位(量)・現在時刻・予約時刻等)を行ない、表示を確認したのちご使用ください。

■雷が鳴った後、器具が作動しないとき

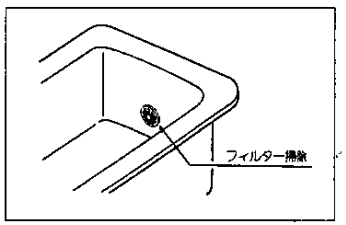
●落雷の際、お湯が出なくなった場合は器具内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを1度コンセントから抜き、再度差しこんでください。それでも使用できないときはお求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この器具は停電時には使用できません。
●停電時は給湯せんを閉めてください。
●再通電したときは、リモコンの設定(給湯湯温・風呂湯温・水位(量)・現在時刻・予約時刻等)を行ない、表示を確認したのちご使用ください。
(5分以上の停電のときは再設定が必要です。)

■日常の点検・手入れ

●日常の点検、手入れをしてください。
(詳しくは40ページをご覧ください。)
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
●フィルターはこまめに掃除してください。
浴そう内の循環口のフィルターがつまってくると浴そうの湯温が不均一になったり、焚き上がる前に消火することがあります。



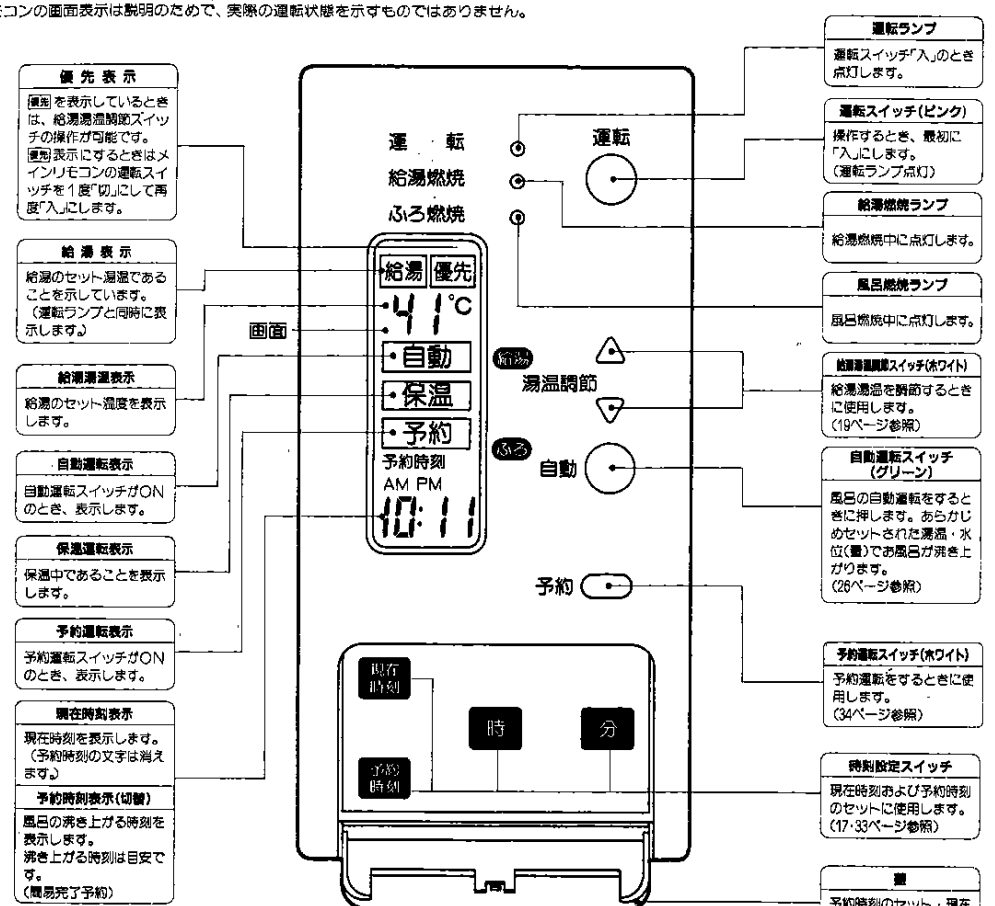
■入浴剤や洗剤についてのご注意

●入浴剤や洗剤(特に硫黄、酸、アルカリを含んだ商品)は、器具の性能低下および熱交換器等が腐食する原因となる場合がありますので、成分や説明文を確かめてからお使いください。

各部のなまえと扱いかた

■メインリモコン(台所等についています。)

〔注〕リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。



優先表示
優先を表示しているときは、給湯湯温調節スイッチの操作が可能です。
優先表示にするときはメインリモコンの運転スイッチを1度「切」にして再度「入」にします。

給湯表示
給湯のセット湯温であることを示しています。
(運転ランプと同時に表示します。)

給湯湯温表示
給湯のセット温度を表示します。

自動運転表示
自動運転スイッチがONのとき、表示します。

保温運転表示
保温中であることを表示します。

予約運転表示
予約運転スイッチがONのとき、表示します。

現在時刻表示
現在時刻を表示します。
(予約時刻の文字は消えます。)

予約時刻表示(切替)
風呂の沸き上がる時刻を表示します。
沸き上がる時刻は目安です。
(簡易完了予約)

運転ランプ
運転スイッチ「入」のとき点灯します。

運転スイッチ(ピンク)
操作するとき、最初に「入」にします。
(運転ランプ点灯)

給湯燃焼ランプ
給湯燃焼中に点灯します。

風呂燃焼ランプ
風呂燃焼中に点灯します。

給湯湯温調節スイッチ(ホワイト)
給湯湯温を調節するときに使用します。
(19ページ参照)

自動運転スイッチ(グリーン)
風呂の自動運転をするときに押します。あらかじめセットされた湯温・水位(量)でお風呂が沸き上がります。
(26ページ参照)

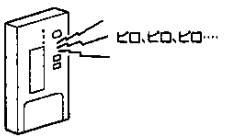
予約運転スイッチ(ホワイト)
予約運転をするときに使用します。
(34ページ参照)

時刻設定スイッチ
現在時刻および予約時刻のセットに使用します。
(17・33ページ参照)

量
予約時刻のセット・現在時刻のセットのときに開きます。

■風呂沸き上がりブザー

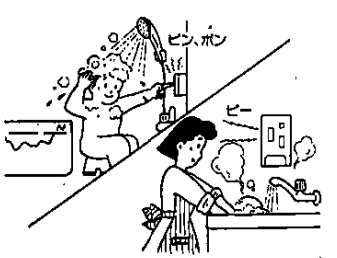
●自動で風呂が沸き上がったとき



ブザーが約10秒間鳴ります。

■「呼出」スイッチ(風呂リモコンのみ)

●お風呂で「呼出」スイッチを押したとき。



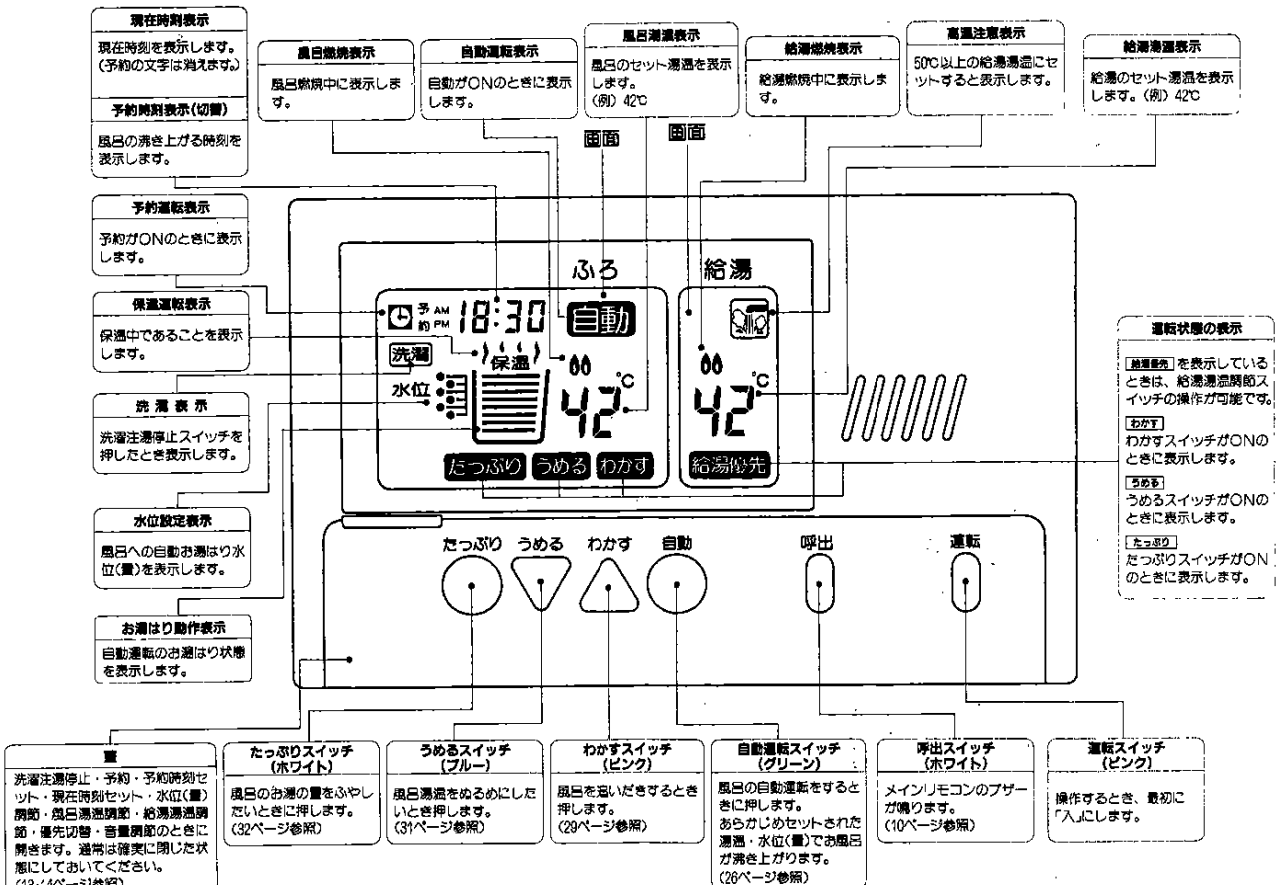
メインリモコンが「呼出」スイッチを押している間、「ピー」と鳴ります。

■風呂リモコン(浴室についています)

〔注〕●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。

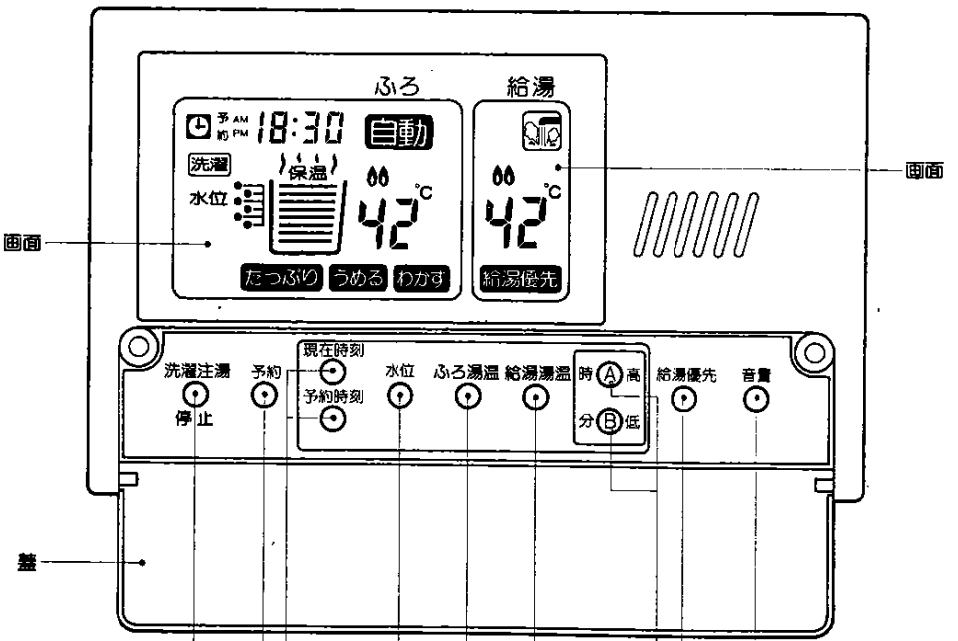
※風呂リモコンには、操作方法を知らせる音声ガイドが内蔵されています。

●通常は蓋が確実に閉じた状態にしておいてください。



■風呂リモコン

●蓋を開けた状態



洗濯注湯/停止スイッチ
別売品の洗濯注湯システムを停止するとき使用します。
(36ページ参照)

予約運転スイッチ
予約運転をするときに使用します。
(34ページ参照)

水位設定スイッチ(量)
水位(量)調節のときに使用します。
(25ページ参照)

風呂湯温設定スイッチ
風呂湯温を調節するときに使用します。
(24ページ参照)

調節スイッチ
現在時刻・予約時刻・水位(量)調節・風呂湯温・給湯湯温をセットするときに使用します。
(17・20・24・25・33ページ参照)

音量調節スイッチ
音量(音声)を調節するときに使用します。
(18ページ参照)

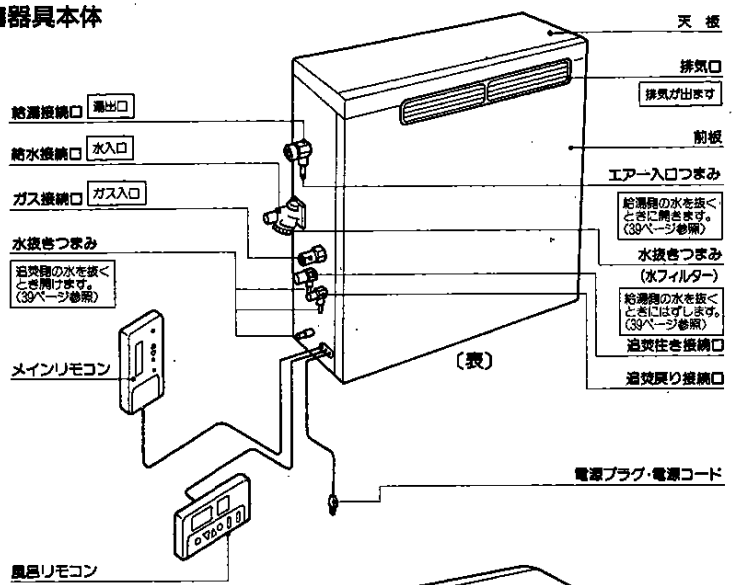
時刻設定スイッチ
現在時刻および予約時刻のセットに使用します。
(17・33ページ参照)

給湯湯温設定スイッチ
給湯湯温を調節するときに使用します。
(20ページ参照)

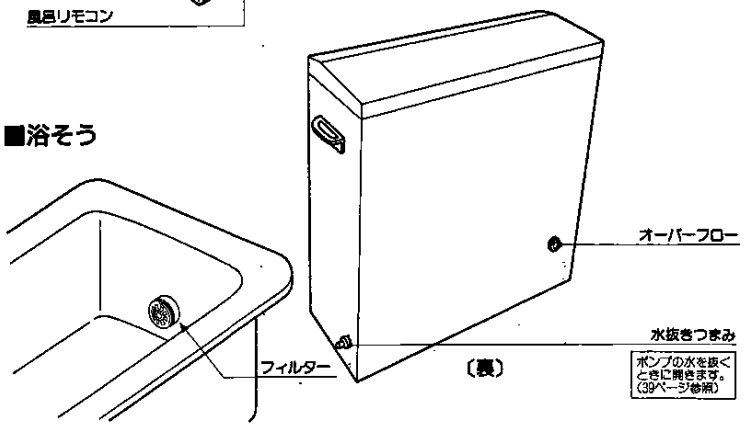
給湯優先スイッチ
給湯湯温調節の優先機を切り替えるスイッチです。
(20ページ参照)

初めてお使いいただくときに

■器具本体

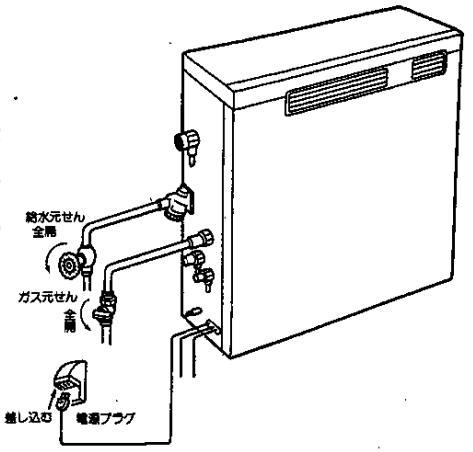


■浴そう



1 初めてお使いになるときはまず……

(1)給水元せん（器具の側面）を全開にします。
(2)給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます。
(3)ガス元せん(器具の側方にあります)を全開にします。
(4)電源プラグ(器具の周辺にあります)を差し込みます。

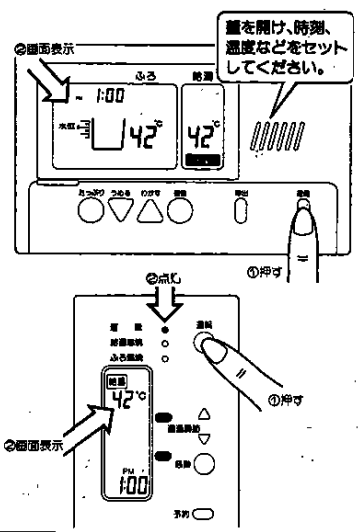


2 リモコンの「運転」スイッチ(ピンク)を押し「入」にします。

●風呂リモコンのみ「音声ガイド」が2回流れます。

この音声ガイドは、電源を入れたときや停電復帰後など5分以上通電が止まった後、はじめて「運転」スイッチを押したときだけ流れます。

●お買い上げいただいたときの給湯湯温、風呂湯温は42℃です。

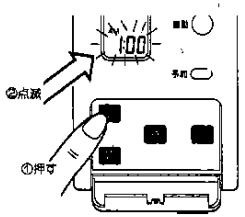


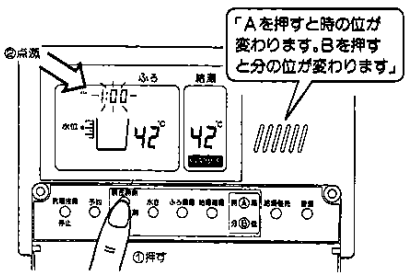
使用方法・現在時刻の合わせかた

●メインリモコンと風呂リモコンの時計は連動しています。
●「運転」スイッチがOFFでも操作できます。

1 リモコンの蓋を開け
「現在時刻」スイッチを押します。

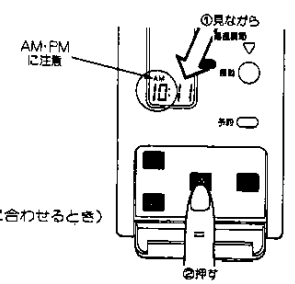
●現在時刻表示が点滅します。





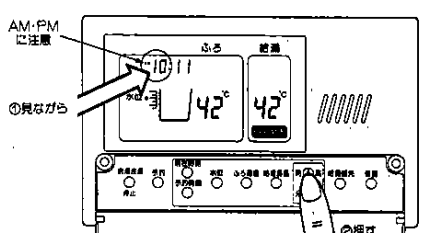
2 現在時刻を合わせます。

AM(午前)・PM(午後)に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。



(1) **メインリモコン** で合わせるときは、
時スイッチ を押して **時の位** を合わせます。
分スイッチ を押して **分の位** を合わせます。
(例：AM10:11に合わせるとき)

(2) **風呂リモコン**
「時Ⓐ高」スイッチ を押して **時の位** を合わせます。
「分Ⓑ低」スイッチ を押して **分の位** を合わせます。



(3)「現在時刻」スイッチを押します。
●時刻表示の点滅が止まります。
(4)蓋を閉じます。

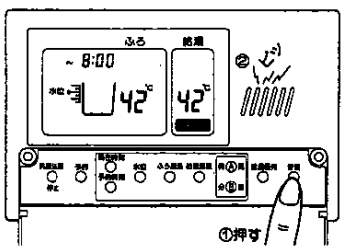
使用方法・音量調節のしかた

●風呂リモコンは、操作方法を説明する音声やブザーが流れます。好みに応じて調節してください。
●画面に表示が出ていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。
表示が出ていないときは、「運転」スイッチ(ピンク)を押します。

1 (1)リモコンの蓋を開け
「音量調節」スイッチを押します。

●1回押すごとに音量がかわります。
●音量判断のための「ピッ」音が鳴ります。

大 『ピッ』『ピッ』・・・
↓
中 『ピッ』『ピッ』・・・
↓
小 『ピッ』『ピッ』・・・
↓
無音 ・・・「音声ガイド」及び風呂リモコンの呼出し音は流れません。



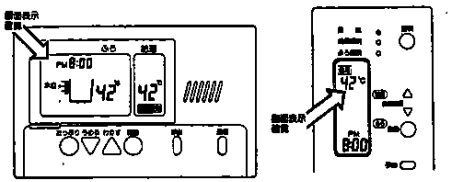
自動運転終了時のブザー及びスイッチ操作時の「ピッ」音の音量は変更されません。

(2)蓋を確実に閉じます。

使用方法・給湯シャワー

- 初めてお使いの時や、電源プラグを抜いたことにより5分以上通電が止まった後、再通電したときは給湯湯温表示が42℃となります。再度、セットしなおしてください。
- 通常給湯湯温は運転スイッチを「切」にしてもメモリーされていますが、給湯湯温が65℃以上に設定されていた場合はやけど等危険防止のため運転スイッチを入れると、自動的に60℃に設定されます。
- 表示している湯温と給湯せんから出る湯温は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 自動運転中の出湯は風呂湯温になります。自動運転が終了(ブザーが鳴ります)すると給湯湯温になります。

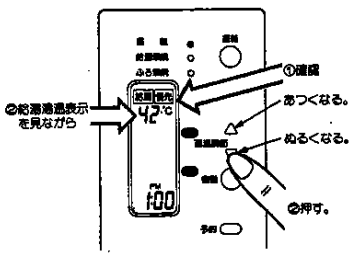
1 リモコン画面に
表示が出ていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチ(ピンク)を押します。



2 **給湯湯温調節をします。**

■メインリモコンで湯温調節をしたいとき

(1)メインリモコンの画面に
優先が表示されていることを確認します。
- 優先表示が出ていないときは、メインリモコンの運転スイッチを「切」にして再度「入」にします。



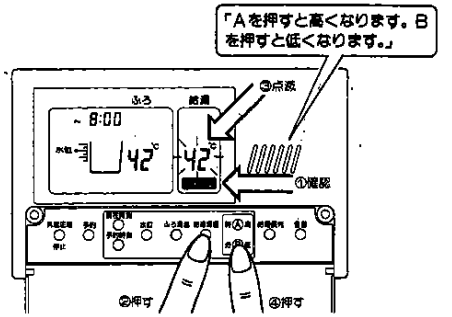
(2)**「給湯湯温調節」スイッチを押し、湯温設定します。**

調節範囲	35℃	38℃～47℃	50・55・60・70・75℃
	最低湯温	1℃ずつ	5℃ずつ

ご注意
- シャワー使用中に優先の変更、メインリモコンでの給湯湯温調節をしないでください。シャワーの湯温が急に変わって危険です。
- 優先を切替えたとき、切替前のセット湯温が65℃以上であると、60℃に自動的にセットされます。

■風呂リモコンで湯温調節をしたいとき

(1)風呂リモコンの画面に
給湯優先が表示されていることを確認します。
- 給湯優先が表示されていないときは、風呂リモコンの蓋を開け「給湯優先」スイッチを押します。



(2)リモコンの蓋を開け
「給湯湯温設定」スイッチを押します。
- 給湯湯温表示が点滅し、音声ガイドが2回流れます。

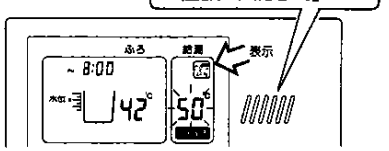
(3)**「調節」スイッチを押して湯温設定します。**

給湯湯温を高くする➡「時Ⓐ高」を押す。
給湯湯温を低くする➡「分Ⓑ低」を押す。

- 50℃以上に設定すると画面に「高温注意表示」が表示され、音声ガイドが2回流れます。
[メインリモコンで50℃以上に設定したときも音声ガイドが流れます。]

調節範囲	35℃	38℃～47℃	50・55・60・70・75℃
	最低湯温	1℃ずつ	高温注意表示

(4)「給湯湯温設定」スイッチを押します。
- 給湯湯温表示の点滅がとまります。

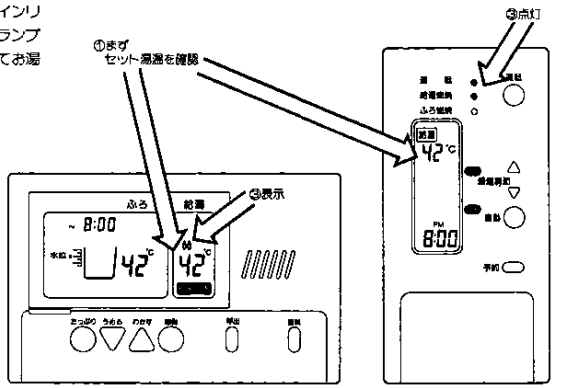


(5)蓋を確実に閉じます。

ご注意
- 浴室でシャワーを使用するときは風呂リモコンに給湯優先を表示させ、給湯湯温表示を確認してください。風呂リモコンに給湯優先が表示されているときはメインリモコンで、給湯湯温の調節はできません。
- 優先を切替えたとき、切替前のセット湯温が65℃以上であると、60℃に自動的にセットされます。

2 給湯せんを開けます。

●点火すると「給湯燃焼表示」（🔥）が表示され（メインリモコンは、給湯燃焼ランプが点灯）しばらくしてお湯が出ます。

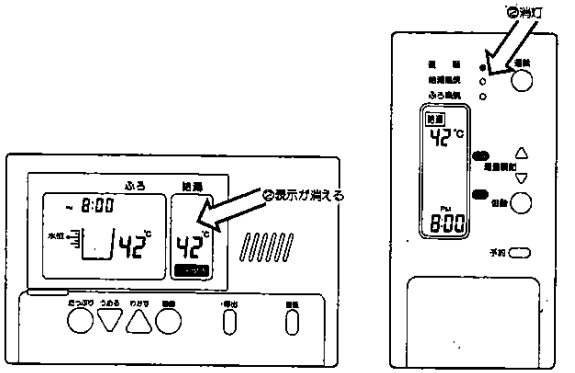


ご注意

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯は出ません。
  （配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。）
- セットしてある湯温が高温になっている場合もありますのでシャワー等をお使いのときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 給湯せんを絞りすぎると（約2.5ℓ/分以下）熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 夏期水温が30℃近くなると、低温にセットしても給湯せんから出るお湯の量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には給湯せんをさらに開けて湯量を多く出すか、水と混合してお使いください。
- 冬期水温が低いときに給湯せんを全開にすると、60℃以上のお湯が出ないことがあります。
  60℃以上のお湯がほしい場合は給湯せんを絞ってお使いください。

3 給湯せんを閉めます。

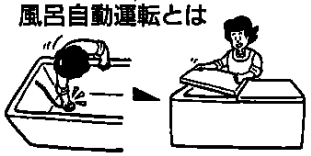
●お湯が止まると「給湯燃焼表示」（🔥）（メインリモコンは、給湯燃焼ランプ）が消えます。
（他の給湯せんで使用中だったり、自動で浴そうにお湯を入れているときは消えません。）



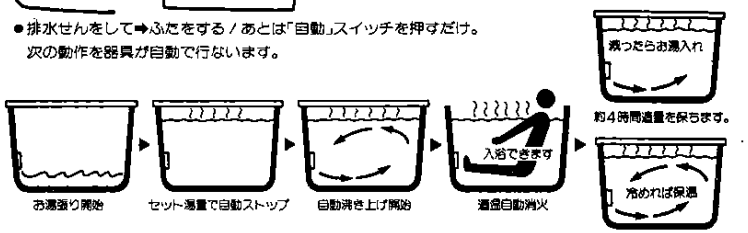
●給湯せんを閉めても暫長の燃焼用のファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

使用方法・風呂自動運転

風呂自動運転とは



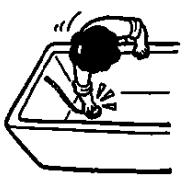
●排水せんをして➡ふたをする！あとは「自動」スイッチを押すだけ。
次の動作を器具が自動で行ないます。



●お湯の入れ過ぎや沸し過ぎがなく、上下均一に沸き上がります。

1 運転前の準備をします。

(1)排水せんをします。
●お風呂を沸かす前に必ず、排水せんをしてください。



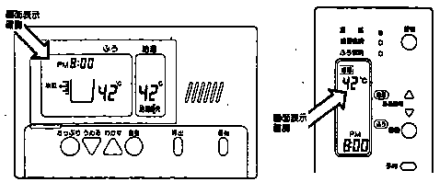
(2)浴そうにふたをします。
●この器具は浴そうにふたをしたままお湯張りができます。

排水せんをしわすれた場合は自動運転を開始してから約40分後風呂リモコンに「032」が点滅し、運転が停止します。(メインリモコンは、風呂燃焼ランプが点滅)排水せんをして、一旦「運転」スイッチを「切」にし、再度「運転」スイッチを押して「入」にしてください。

●メインリモコンではふろ湯温と水位(量)の設定はできません。風呂リモコンで行なってください。
●初めてお使いの時や、電源プラグを抜いたことにより5分以上通電が止まった後、再通電したときはふろ湯温表示が42℃、水位は④となります。再度セットしなおしてください。
●表示する湯温と表示する水位(量)は、水温や水圧により実際とは異なる場合があります。目安としてお使いください。

2 リモコン画面に表示が出ていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。

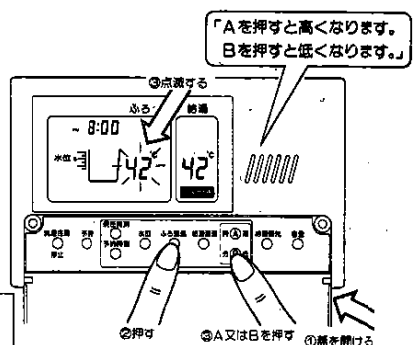
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチ(ピンク)を押します。



3 風呂湯温を設定します。

●2回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

(1)風呂リモコンの蓋を開け、
「風呂湯温設定」スイッチを押します。
●「風呂湯温表示」が点滅します。
●音声ガイドを2回繰り返します。



(2)**「調節」スイッチを押して湯温設定します。**

風呂湯温を高くする➡**「時Ⓐ高」を押す。**
風呂湯温を低くする➡**「分Ⓑ低」を押す。**

調節範囲	37℃～39℃	40℃～43℃	44℃～48℃
	1℃ずつ		
ご使用目安	ぬるい	標準	あつい

(3)「風呂湯温設定」スイッチを押します。
●「風呂湯温表示」の点滅がとまります。

4 風呂水位を設定します。

- 2回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

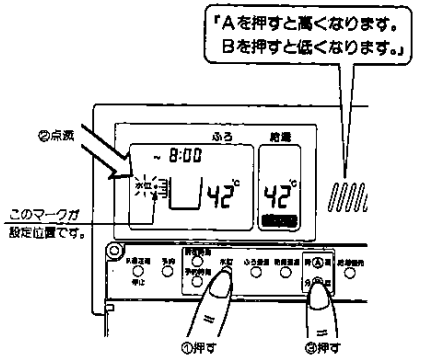
(1)風呂リモコンの蓋を開け、

「水位設定」スイッチを押します。

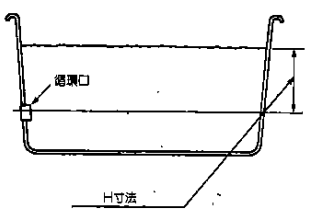
- 「水位」の表示と「●」の表示が点滅します。
- 音声ガイドが2回流れます。

(2)「調節」スイッチを押して水位設定します。

水位を高くする➡「時Ⓐ高」を押す。
水位を低くする➡「分Ⓑ低」を押す。



- 水位設定について



水位設定	循環口からの水位(H寸法)
最　高	約40cm
5 段 目	約35cm
4 段 目	約31cm（初期設定）
3 段 目	約27cm
2 段 目	約22cm
最　低	約18cm

水位を示す数値(H寸法)はおよその目安です。
水温や水位により異なりますのでご了承ください。

(3)「水位設定」スイッチを押します。

- 「水位」「●」が点滅から点灯に変わります。

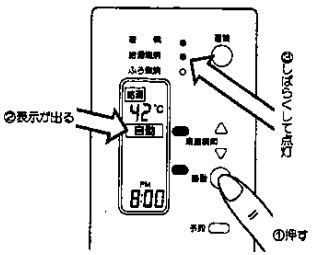
(4)蓋を確実に閉じます。

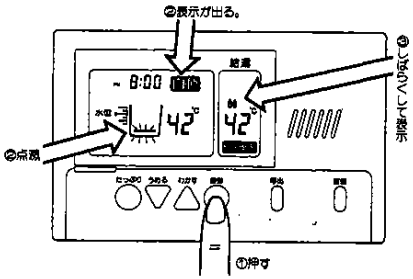
ご注意

- 水位を示す数値(H寸法)はおよその目安です。水温や水圧により異なりますのでご了承ください。

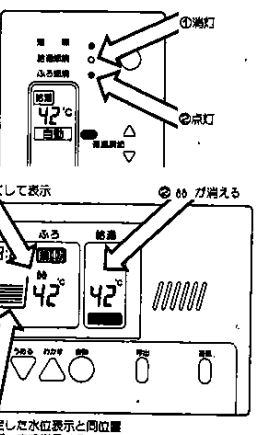
5 (1)「自動」スイッチ(グリーン)を押します。

- メインリモコンでも操作できます。
- 自動 が表示され、しばらくしてお風呂の循環口からお湯が出てきます。このとき「給湯燃焼表示」(♨)（メインリモコンは、給湯燃焼ランプ）が表示されます。



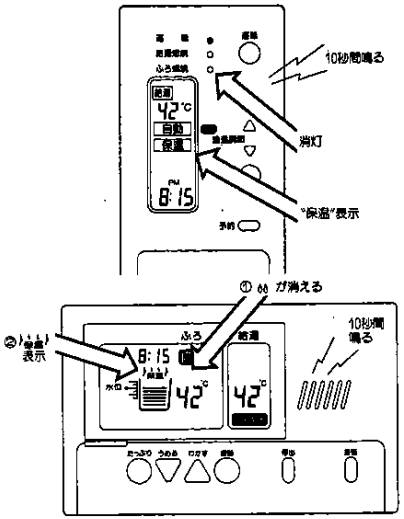


- 浴そうにお湯が張られるにしたがって、浴そうの表示内のバーが点滅、あるいは点灯します。
- 設定水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ていたお湯が止まります。
  このとき「給湯燃焼表示」(♨)（メインリモコンは、給湯燃焼ランプ）が消えます。
- お風呂のお湯を循環して沸かしあげます。
  このとき「風呂燃焼表示」(♨)（メインリモコンは、風呂燃焼ランプ）が表示されます。
- 設定した水位表示と同位置のバーまで表示します。



6 風呂リモコン、メインリモコンのブザーが約10秒間鳴り、沸き上がったことを知らせます。

- 風呂湯温まで沸き上がりますと「風呂燃焼表示」(▮▮)（メインリモコンは、風呂燃焼ランプ）が消えます。
- 同時に「保温表示」が表示されます。これは、風呂の湯温と湯量を器具が見はっていることを表わしています。



7 自動的に約4時間水位と湯湯温を保ちます。

（風呂リモコンは 自動 湯量・浴 表示。
メインリモコンは、自動 保温 表示。）

- この間は30分ごとにポンプがまわり、湯温を検知し、湯温が下がっていると自動的にセット湯温まで沸かし上げ保温します。
（ときどき「風呂燃焼表示」(▮▮)（メインリモコンは風呂燃焼ランプ）が表示されます。）
また湯量がセット水位より減ると自動的に循環口からお湯がでて、セット水位まで足し湯します。
- 約4時間経過すると自動的に停止します。
（風呂リモコンは 自動 湯量・浴 浴そうマーク内のバー、
メインリモコンは 自動 保温 が消えます。）

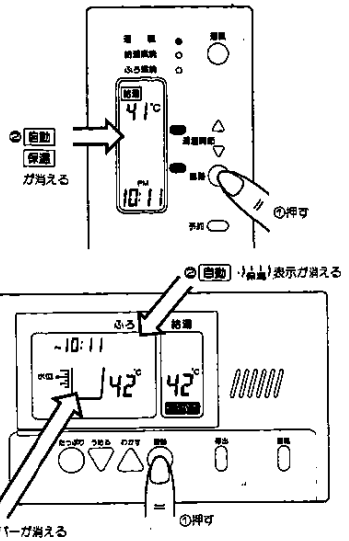
ご注意

- 自動お湯張り中、循環口からお湯が出たり止まったりし、また、「給湯燃焼表示」(▮▮)（メインリモコンは、給湯燃焼ランプ）がついたり、消えたりしますが、異常ではありません。
- 自動お湯張り中、他で給湯せんを開くと、お湯は両方に分配されますので、お湯張り量が減り、お湯張り時間は長くなります。

8 自動運転・保温運転をやめたいとき

(1)「自動」スイッチを押します。

- どちらのリモコンでも操作できます。



9 沸かし直し

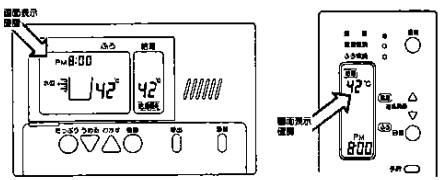
- 前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「風呂自動運転」とまったく同じ手順で行ないます。
セット水位より湯量が減っている場合は、セットした水位まで足し湯したうえでセット湯温に沸かしあげます。

わかす運転とは
- 入浴時、お風呂のお湯がぬるくなって、もっと熱くしたい時に操作します。
- セット湯温より約2℃熱く沸き上げて自動停止します。

ご注意
- 浴そうの循環口より上に湯（水）があるとき操作してください。

1 リモコン画面に表示が出ていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチ（ピンク）を押します。



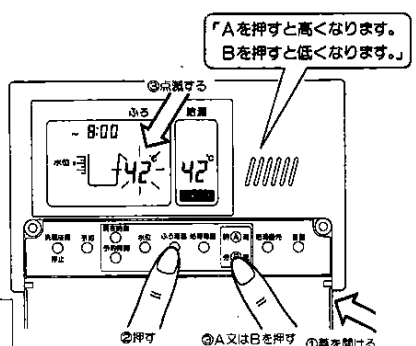
2 風呂湯温を設定します。

- 2回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

(1)風呂リモコンの蓋を開け、

「風呂湯温設定」スイッチを押します。

- 「風呂湯温表示」が点滅します。
- 音声ガイドを2回繰り返します。



(2)**「調節」スイッチを押して湯温設定します。**

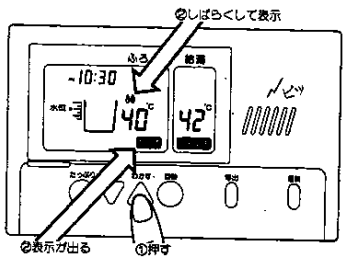
風呂湯温を高くする➡「時Ⓐ高」を押す。
風呂湯温を低くする➡「分Ⓑ低」を押す。

調節範囲	37℃～39℃	40℃～43℃	44℃～46℃
	1℃ずつ		
ご使用目安	ぬるい	標　準	あつい

(3)「風呂湯温設定」スイッチを押します。
- 「風呂湯温表示」の点滅がとまります。

3 「わかす」スイッチ（ピンク）を押します。

- 画面に わかす が表示され、しばらくして、「風呂燃焼表示」(66)（メインリモコンは、風呂燃焼ランプ）が表示されます。



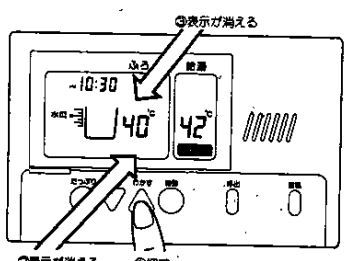
ご注意
- うめる運転中（うめる 表示中）は、わかす運転ができません。「わかす」スイッチを押しますと警告音（ピッ・ピッ・ピッ…）が鳴ります。

4 「わかす」スイッチ（ピンク）を押します。

お好みの湯かげんになったら

- わかす 表示が消え、「風呂燃焼表示」(66)が消えます。（メインリモコンは、燃焼ランプが消えます。）

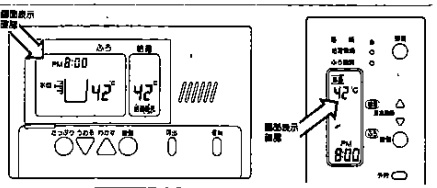
わかす運転停止の操作をしない場合は
⬇
風呂セット湯温より約2℃熱く沸き上げて自動停止。
〈例〉40℃➡42℃で自動停止



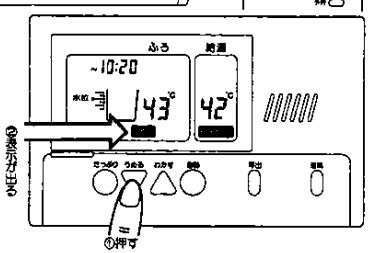
使用方法・うめる

うめる運転とは
- お風呂のお湯をぬるくしたい時に操作します。
- 約12ℓ水を入れてから自動停止し、その後約1分間のかくはんを行ないます。
  この操作によりお風呂がぬるくなります。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度「うめる」スイッチを押してください。

1 リモコン画面に
表示が出ていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチ(ピンク)を押します。



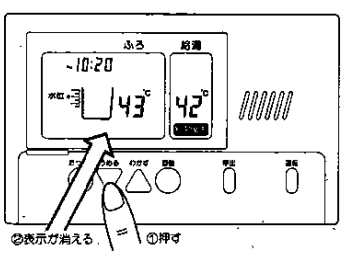
2 「うめる」スイッチ（ブルー）を押します。
- 画面に うめる が表示され、しばらくしてお風呂の循環口から水が出てきます。



ご注意
- 自動運転中(終了ブザーが鳴り終るまで)は、「うめる」スイッチは使用できません。
  (スイッチを押すと、警告音「ピッ・ピッ…」が鳴ります。)
- わかす運転中(風呂燃焼表示が表示中)は、「うめる」スイッチは、使用できません。(スイッチを押すと警告音「ピッ・ピッ…」が鳴ります。

3 お好みの湯かげんになったら
「うめる」スイッチ（ブルー）を押します。
- うめる 表示が消えます。

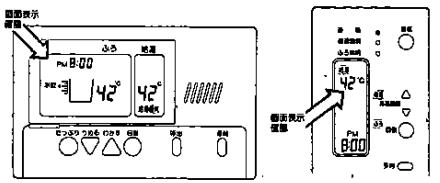
[うめる停止の操作をしない場合は、約12ℓ水を入れ続けてから自動停止し、その後1分間のかくはんを行ないます。]



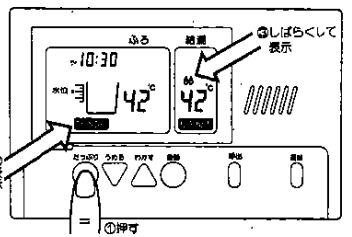
使用方法・たっぷり

たっぷり運転とは
- お風呂のお湯の量を増したいときに操作します。
- 「風呂セット湯温」のお湯が約24ℓ、お風呂にたし湯されます。

1 リモコン画面に
表示が出ていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチ(ピンク)を押します。



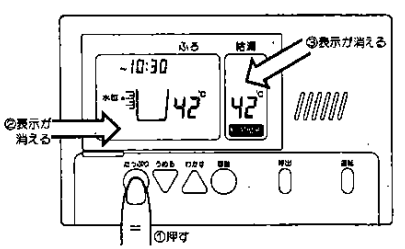
2 「たっぷり」スイッチ（ホワイト）を押します。
- 画面に たっぷり が表示され、しばらくしてお風呂の循環口から湯が出てきます。このとき「給湯燃焼表示」(🔥)が表示されます。(メインリモコンは、給湯燃焼ランプが点灯)



ご注意
- 自動運転中(終了ブザーが鳴り終るまで)は、「たっぷり」スイッチは使用できません。

3 お好みのお湯入れ量になったら
「たっぷり」スイッチ（ホワイト）を押します。
- たっぷり 表示が消え、「給湯燃焼表示」(🔥)が消えます。(メインリモコンは、給湯燃焼ランプが消灯。)

[たっぷり運転停止の操作をしないときは、約24ℓたし湯し、その後自動的に1分間のかくはんを行います。]

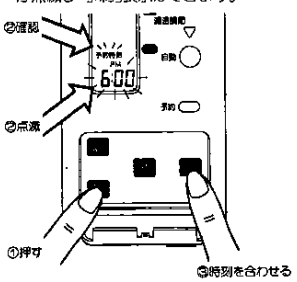


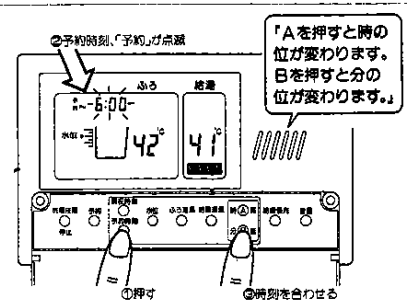
使用方法・風呂の予約時刻の合わせ方

- 予約時刻は風呂リモコン、メインリモコンどちらのリモコンでもセットできます。
- 「運転」スイッチの入切に関係なくセットできます。
- リモコンの表示画面の現在時刻が合っているか確認してください。現在時刻が合っていない場合は17ページを見て合わせてください。
- 予約時刻は沸き上げが完了する時刻です。（簡易完了予約）

1 リモコンの蓋を開け「予約時刻」スイッチを押します。

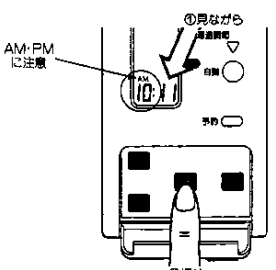
- 「予約時刻」が表示され、時計の数字が点滅し「予約」表示ができます。





2 予約時刻を合わせます。

AM（午前）・PM（午後）に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。



(1)**メインリモコン**で合わせるときは、

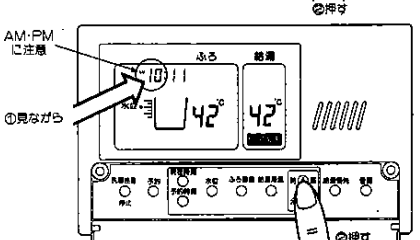
時スイッチ を押して
時の位を合わせます。

分スイッチを押して
分の位 を合わせます。

(2)**風呂リモコン**で合わせるときは、

「時Ⓐ高」スイッチを押して
時の位を合わせます。

「分Ⓑ低」スイッチを押して
分の位を合わせます。



(3)「予約時刻」スイッチを押します。
- 時刻表示の点滅が止まります。

(4)蓋を閉じます。

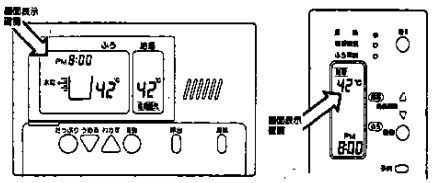
使用方法・風呂の予約運転

お風呂沸かし予約運転とは
- 予約時刻をセットしておけばその時刻に入浴できるよう、器具が自動でお風呂を沸かします。（どちらのリモコンでも予約運転できます。）

- 浴そうの排水せんがしまっていることとふたをしてあることを確認してください。
- 現在時刻、予約時刻を確認してください。
- 風呂の湯温設定・水位設定を確認してください。
- セットした予約時刻は記憶されていますので入浴する時刻が決っているときは予約時刻を毎日セットする必要はありません。
- 予約運転で、お風呂を沸かしたときは保温・足し湯動作はしません。

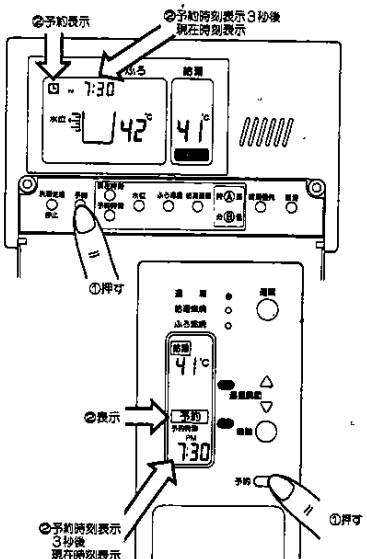
1 リモコン画面に表示が出ていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチ（ピンク）を押します。



2 (1)「予約」スイッチを押します。

- ⏲ が表示されます。（メインリモコンは 予約 表示。）
- 予約時刻が表示されますが、3秒後には現在時刻表示に変わります。



(2)蓋を確実に閉じます。

- 「運転」スイッチを「切」にしても、予約運転をします。このとき⏲と現在時刻のみ表示されます。（メインリモコンは 予約 表示。）
- 予約時刻の約40分前から風呂自動運転が始まり、予約時刻にはお風呂に入れます。（簡易完了予約）

水温や浴そうの大きさにより、お湯はり完了時刻が前後することがあります。

2 ■予約を取り消したいときは

(1)「予約」スイッチを押します。

- 🕒の表示が消えます。(メインリモコンは、予約 表示。)
- すでに自動運転がはじまり、自動 の表示がされているときは、「自動」スイッチを押します。
  自動 の表示が消えて運転が停止します。

■予約運転後、保温と足し湯動作が必要なときは、

(1)「自動」スイッチを押します。

- 予約運転でお風呂を沸かしたときは、保温・足し湯動作はしません。

■予約時刻を確認したいときは、

(1)「予約時刻」スイッチを押します。

- 予約時刻表示が点滅しますので確認してください。

■予約時刻を変更したいときは、

- 「風呂の予約時刻の合わせ方」と同じ操作で変更できます。(33ページ参照)

ご注意

- 自動・わかす・たっぷり・うめる運転中「予約」スイッチは、操作できません。
- 予約をセットした後、「わかす」・「たっぷり」・「自動」スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いたことにより、5分以上通電が止まったあと、再通電したときは、現在時刻や予約時刻が、初期設定時間(現在時刻：AM1：00、予約時刻：PM6：00)になりますので、再セットが必要です。(17ページ、33ページ参照)。
- 予約した後に5分以上の停電があると、予約が解除されます。(お風呂沸しをしません。)

■別売品の洗濯注湯システム(36-046型)を取り付けの際に使用するスイッチです。

- 洗濯注湯システム取付時は洗濯注湯システムの取扱説明書をご覧ください。

万一、「洗濯注湯/停止」スイッチを押した場合は、

- 洗濯 が表示され、ポンプが15分間運転し自動停止します。
- または、再度「洗濯注湯/停止」スイッチを押すと、手動停止します。

ご注意

- 洗濯 表示中は、自動・わかす・たっぷり・うめる・予約運転はできません。ピピッという警告のブザーで知らせます。「洗濯注湯/停止」スイッチを押して 洗濯 表示を消してください。
- 自動・わかす・たっぷり・うめる運転中は、「洗濯注湯/停止スイッチ」を押しても動作しません。ピピッという警告のブザーで知らせます。

使用方法・凍結予防方法

冬季の凍結による破損予防の方法は

- 器具が凍結すると、給湯ができないばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
- この器具の凍結予防方法は次の3つのケースでやり方が変わります。
  ①凍結予防装置による方法
  ②水を流す方法
  ③器具の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

1 凍結予防装置による方法

- この器具には、気温がさがってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターと自動的に浴そうの水(湯)を循環して器具内や追焚配管の凍結を予防する自動凍結予防装置がついています。
  通常は器具の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、器具内の凍結は予防できます。
- 自動凍結予防装置は「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。
- 浴そうの残り湯はすてないで、そのままにしておいてください。

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
  抜けていると凍結予防装置が作動しませんのでご注意してください。

ご注意

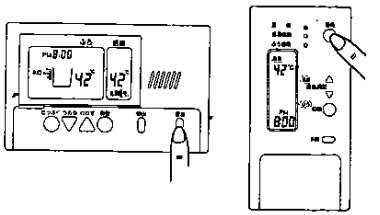
- 凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温マイナス15℃程度までですので特に寒い時や急な寒波などが予想されるときは、はやめに「水を流す方法」「器具の水を抜く方法」による凍結予防の処置を行ってください。
- 器具内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

2 水を流す方法

- この場合は、器具本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

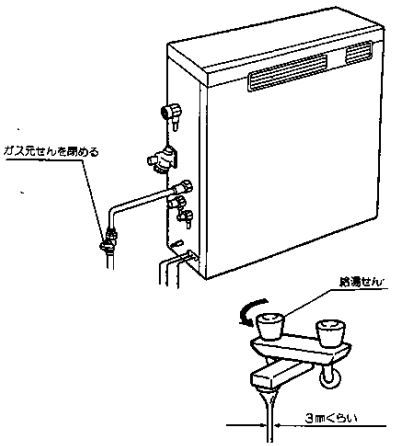
■給湯側の凍結予防

①「運転」スイッチを「切」にします。



②ガス元せんを閉めます。

③浴室の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳ビン1本ぐらい)を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



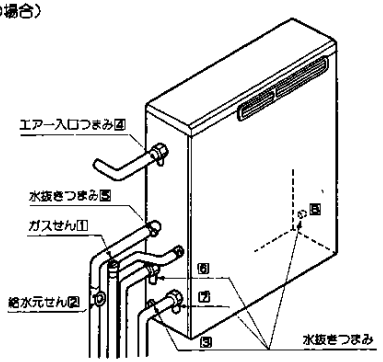
■ふろ側の凍結予防

- この器具には外気温が下がってくると自動的にポンプが運転して、凍結を予防する装置を組み込んでいます。
- 浴そうの残り湯は捨てないで、そのままにしておいてください。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
  抜けていると凍結予防装置が作動しませんのでご注意してください。

点検・お手入れ

3 器具の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。
ふろ側から先に水抜きを行ないます。



■ふろ側

①浴そうの水を排水します。
②リモコンの「運転」スイッチを押し(画面に表示がでる)「洗濯注湯/停止スイッチ」を押し、風呂アダプターより水が出ることを確認して5分程そのままにします。
③上記の排水の完了を確認します。
④ガスせん1をしめます。
⑤水抜きつまみ3 6 7 8をあけます。
※ふろ側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流し込まないでください。

■給湯側

①リモコンの「運転」スイッチを「切」にします。
②ガスせん1をしめてあるのを確認します。
③給水元せん2をしめます。
④すべての給湯せんを全開にします。
⑤水抜きつまみ5を左にまわしてはずします。
⑥エアー入口つまみ4を左にまわしてあけます。
⑦「運転」スイッチ「自動」スイッチを「入」にし、約1分後、「自動」スイッチを「切」にします。
⑧電源プラグを抜きます。
●以上の操作で器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
⑨器具を使用するときは逆の順序で行ないます。
給水元せんを開き、水漏れがないか確認してください。

凍結したときは

●凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと器具に異常が生じる場合があります。運転スイッチ「切」の状態で給湯せんを開けて水が出てくればご使用になれます。
●通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
●器具や配管が破損しますと高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

●点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行ってください。
●お手入れの前にはガス元せんを閉め、電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。
●器具の前板をはずさないでください。(器具およびリモコンは絶対に分解しないでください。)

●点　検

●器具および配管より水漏れはありませんか。
●運転中に器具から異常音が聞えませんか。
●器具の外観に異常は見られませんか。
●器具のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。
●給湯せんの先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

●お 手 入 れ

●本体が汚れたとき

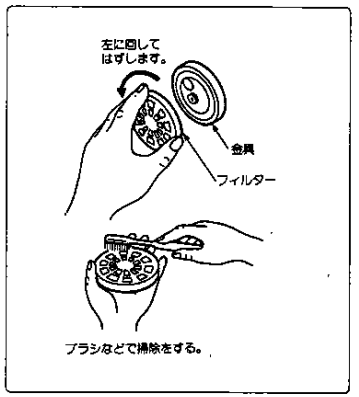
布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。
ベンジン、シンナーなどではふかないでください。

●リモコンが汚れたとき

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。
洗剤、ベンジン、シンナーなどではふかないでください。
(注)メインリモコンには水をかけないでください。(風呂リモコンは防水タイプです。)

●フィルターの洗浄について

●浴そうをおそうじするときはフィルターもそうじしてください。フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。フィルターの汚れがひどいと循環量が弱まったり、ひどいときには追焚きもできなくなります。
●フィルターはネジ式で固定されており、左に回せばはずせます。



フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターをつけないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。

故障かな?と思ったら

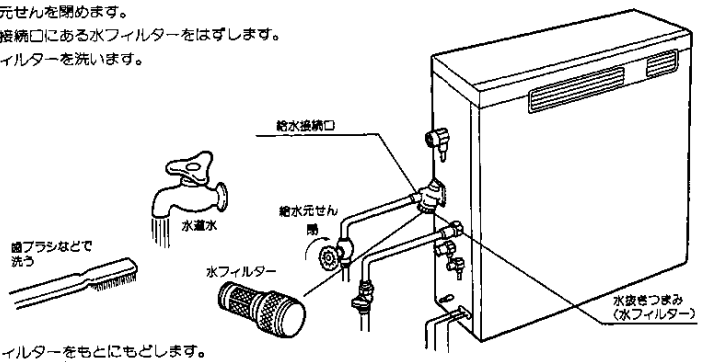
●給水側水フィルターのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。

(1)給水元せんを閉めます。

(2)給水接続口にある水フィルターをはずします。

(3)水フィルターを洗います。



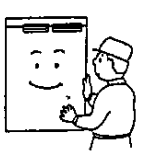
(4)水フィルターをもとにもどします。

●点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、ガス元栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、器具が正常に作動していることを確認してください。

万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス元栓を閉めてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●定期点検のおすすめ



●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

●ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどき使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

(1度確認してください)

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象	点検項目	
画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	(16ページ)
	停電していませんか	(8ページ)
アラーム番号「032」が点滅(メインリモコンは「風呂燃焼ランプ」が点滅)し、動作しない	給水元せんが全開になっていますか	(16ページ)
	断水していませんか	
	お風呂の排水せんはしっかりはまっていますか	(23ページ)
「給湯燃焼表示」(00)「給湯燃焼ランプ」が点灯しない お湯が出ない	ガスせんが全開になっていますか	(16ページ)
	給水元せんが全開になっていますか	(16ページ)
	断水していませんか	
	給湯せんが十分開いていますか	(21ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯せんが十分開いていますか	(21ページ)
	湯温調節は適切ですか	(19・20ページ)
	混合水せんやサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯湯温を60℃以上にセットしてください。	
「風呂燃焼表示」(00)、「風呂燃焼ランプ」が点灯しない	ガスせんが全開になっていますか	(16ページ)
	浴そうに水が入っていますか	
お風呂使用中に消火した	ガスせんが全開になっていますか	(16ページ)
浴そうの水があつい(ぬるい)	風呂湯温のセットは適切ですか	(24ページ)
浴そうの水が少ない(多い)	お湯入れ量のセットは適切ですか	(25ページ)
試運転時、設定水位で自動運転が終了しない	浴そうが空の状態で「自動」スイッチを押されましたか。	(工事説明書)

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「風呂リモコンにアラーム番号が表示されたとき」(44ページ)の項目を参照してください。

次のような場合は故障ではありません

現　象	原因と対策
給湯せんを絞りすぎて水になった	この器具は流水量が2.5ℓ/min以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯せんをもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプの循環運転を行ないます。
給湯せんを開いてもすぐお湯が出てこない	器具から給湯せんまでは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約1分間は回転しています。
自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴そうの中に正確にお湯入れをするための動作です。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「うめる」・「自動」・「わかす」・「たっぷり」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	停電後、再通電すると表示画面の時計表示がAM1:00になります。なお、水位・湯温表示・予約時刻も初期状態になりますので再設定してください。
掃除後表示画面(液晶)が乱れる	リモコンをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合放置(30分以上)しておくと正常にもどります。
保温中ときどきポンプが回る	浴そうの湯温を検知するため30分毎に回ります。
夏期、給湯湯温を低くすると「給湯燃焼表示」(bb)、「給湯燃焼ランプ」がときどき消灯する。	この器具は、夏期など水温が高いとき低温のお湯を得ようとすると、給湯燃焼をON、OFFさせて湯温制御します。

風呂リモコンにアラーム番号が表示されたとき

- この器具の風呂リモコンは自己判断機能がついています。
  器具が故障するとその故障原因に応じてリモコンの画面にアラーム番号が表示・点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示・点滅したときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へ修理を依頼してください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

(例) 12:15(時計表示) → 111(アラーム表示)

アラームNo	内　容	処　置　方　法	使　用　状　態
111	給湯側点火不良	ガスせん確認後リセット操作※	給湯・自動・たっぷり
112	ふろ側点火不良	ガスせん確認後リセット操作※	自動・わかす
121	給湯側失火	修理を依頼する	給湯・自動・たっぷり
122	ふろ側失火		自動・わかす
140	空だき安全装置作動,電磁弁OFF		給湯・自動・たっぷり・わかす
451	給湯ファン回転異常		給湯・自動・たっぷり・わかす
452	ふろファン回転異常		給湯・自動・たっぷり・わかす
711	給湯電磁弁回路不良		給湯・自動
712	ふろ電磁弁回路不良		自動・わかす
721	給湯側プリ・ポスト不良		給湯・自動・たっぷり
722	ふろ側プリ・ポスト不良		自動・わかす
032	注湯時間異常	おふろの排水せんを確認後リセット※	自動・わかす
252	ふろ水流SW異常	修理を依頼する	自動・わかす
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・自動・たっぷり
312	ふろサーミスタ断線		自動・わかす
321	入水温サーミスタ断線		給湯・自動・たっぷり
331	混合温サーミスタ断線		給湯・自動・たっぷり
432	水位センサー異常		自動
542	ふろエアーパージ時間異常		自動
651	ミキシング弁異常		給湯・自動・たっぷり
505	三方弁の故障	修理を依頼する (別売品の洗濯注湯システムを取付けた場合)	洗濯・自動・たっぷり・わかす
505	水量センサーの故障		洗濯

※リセット操作:運転スイッチを一度「切」にし、約5秒後再度運転スイッチを「入」にする。

寸法図

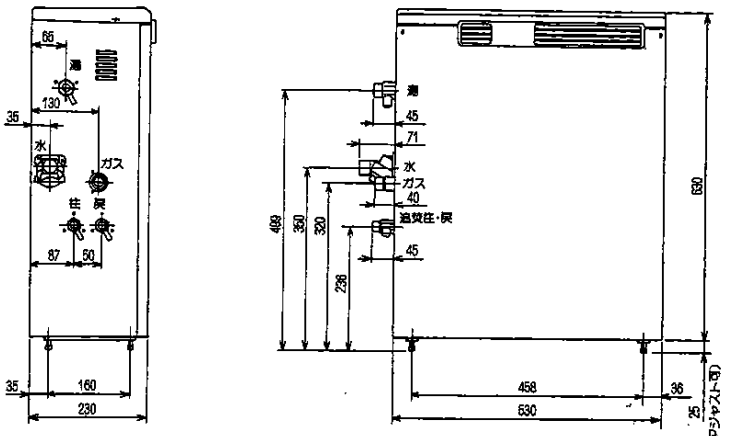
●安全装置の種類とその働き

●この器具には次の様な安全装置が組み込まれています。

- **立消え安全装置**（フレームロッド方式）…バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的にストップします。
- **空だき安全装置**（バイメタル式）…熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的にストップします。
- **空だき防止装置**（水量センサー・水流スイッチ）…熱交換器内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないようにします。
- **過熱防止装置**（温度ヒューズ）…器具内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき、作動し燃焼を自動的にストップします。
- **過圧防止安全装置**（スプリング式）…器具内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水通路外に逃します。
- **漏電安全装置**（漏電リレー）…万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。
- **送風検知装置**（回転数検知方式）…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的にストップします。
- **凍結予防装置**（電気ヒータ+ポンプ運転）…器具内の雰囲気温が低下すると作動、器具内の凍結を防止します。
- **誘導雷保護装置**（サージアブソーバー）…雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電子部品を保護します。

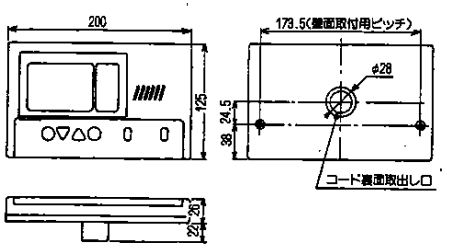
■器具本体

（単位：mm）



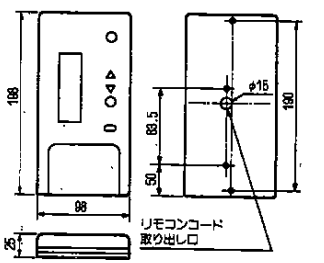
■風呂リモコン

（単位：mm）



■メインリモコン

（単位：mm）



仕様

品名			31-046型	
型式名			TP-FP241AZR	
ガス種			都市ガス(13A)	LPG
外形寸法(mm)			幅530×奥行230×高さ655	
標準ガス消費量(kcal/h)	給湯側		45,000 kcal/h	3.75kg/h
	追いだき側		11,000 kcal/h	0.9kg /h
	同時使用		56,000 kcal/h	4.65kg/h
出湯能力(ℓ/min)(ガス消費量最大時)	上昇温度	25℃	24	24
		40℃	15	15
		50℃	12	12
温度調節	給湯側	風呂リモコン	温度設定可変型	
		メインリモコン	温度設定可変型	
	追いだき側		温度設定可変型	
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
最低作動水圧(kg/㎠)			0.2	
材質	本体外装/塗装		溶融亜鉛メッキ鋼板/溶剤焼付塗装	
	排気部/給気部		ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板	
	熱交換器/バーナ		脱酸銅/ステンレス鋼板	
接続	ガス		20A (R3/4) オネジ	
	給水・給湯		20A (R3/4) オネジ	
	追いだき往・戻		15A (R1/2) オネジ	
電気関係	電源		AC100V (60Hz)	
	リモコン側		24V以下	
	消費電力	無負荷時	8W	
		同時使用	170W	
		凍結予防時	電気ヒーター 280W ポンプ 120W(最大360W)	
	電源コード		VCT (2芯) 2.0m	
安全装置			給湯側水流検知(水量センター) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 風呂側水流検知(水流スイッチ) 空だき安全装置(バイメタル式) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ) 漏電安全装置(漏電リレー) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 給湯側送風検知装置(回転数検知方式) 風呂側送風検知装置(回転数検知方式) 給湯側過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー)	
日水協認可登録番号			共A-5673	

●出湯能力は計算値です。
●ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき

保管とアフターサービス

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガスの元せんを閉じる。
(2)給水元せんを閉じる。
(3)電源プラグを抜く。
(4)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は39ページを参照してください。)

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
1．ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2．品名……31-046型（右のようなラベルを器具の左側面部に貼付けてあります。）
3．現象……できるだけ詳しく
4．訪問ご希望日

(N)31-046
大阪ガス株式会社 06

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●このガス風呂給湯器には保証書がついています。
●保証書に記載のように、ガス風呂給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後10年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

メモ